



学校だより

川越市立山田中学校

令和3年6月4日 発行

獅子奮迅

校長 大澤由美子

晴天に恵まれ、5月29日に体育祭を開催することができました。一年前の5月末は、学校が休みだったことを思うと、今年、このように体育祭を実施できたことを本当に嬉しく思います。

新型コロナウイルス感染拡大防止を第一に考えて、いろいろな制約がありますが、生徒達には「今」を大事に、「出来ること」を大事にしてほしいと思います。新型コロナウイルスのため、「できないこと」「できなくなったこと」もあります。そのような中で、「今、出来ること」を大事にして、丁寧に向き合うことが大切だと思っています。体育祭もその一つです。

生徒達は、体育委員を中心に、団長を中心に、種目リーダーを中心に、限られた時間の中で集中して取り組んできました。これまでの経験や仲間との関わりから、自ら考え、生徒達が主体的に動く様子が多くの場面で見られました。3年生にとっては義務教育最後の体育祭。学校の顔として、下級生をリードし、素晴らしい体育祭を創り上げました。3年生の姿は、とても頼もしく、力強く、これまでの大きな成長を実感しました。先輩から引き継いだ伝統を、しっかりと後につないでくれたと思います。2年生は、より良い体育祭にするために3年生を支えてくれました。そして、今年の体育祭を目に焼き付けて、先輩からのバトンを引き継いでくれたと思います。来年は最上級生として、存分に力を発揮してくれることでしょう。入学して間もない1年生も、中学生の顔つきで、中学生の動きを見せてくれました。2・3年生の姿から学び、努力した結果がはっきり見えました。短い期間で、よく頑張ったと思います。それぞれの学年が、自らの役割を自覚し、真剣に頑張った体育祭でした。生徒達は、体育祭を経てまたひとつ成長したと感じています。その姿はとても美しく、立派であり、感動を呼ぶものでした。

今年のスローガンは、「獅子奮迅 ～熱盛魂見せつけろ～」でした。まさに「獅子奮迅」たくさんの獅子達が敵も味方も圧倒する勢いで、全力で戦いました。どの団も、どのクラスも、一生懸命に取り組み、体育祭を成功させました。競技全般にわたり、団という塊で1年生から3年生まで一つになって行う体育祭は、本校の素晴らしい特色、良き伝統だと思っています。つながりの中で生まれる一体感や喜び、やりきった達成感、すがすがしい思い等、気持ちよさをじっくり味わい、次への活力につなげてほしいと思います。「春風駘蕩」本校の日常は、どちらかといふとこの言葉が当てはまるように感じていましたが、体育祭は、熱く燃える勇ましい姿であふれていました。

「今」の連続が「1日」になり、「1年」になります。「今」を大切にすることが、良い1年間をつくります。体育祭での「頑張りを」、今後につなげてほしいと思っています。

山田中学校が誇る入場行進とラジオ体操は、今年も素晴らしい仕上がりの集団演技となりました。今後さらに磨きがかかっていくことを楽しみにしています。